

Scoop

2000年7月

ステップワゴン

ホンダ

フロントシート後ろ向きのリビングモードも可能！！

ステップワゴンがいまだに人気を維持し続けている理由といえば、あのボクシーなボディが作り出す、広くて快適な居住空間だ。

2001年3月にデビュー予定の次期ステップワゴンは、当然のことながら、その快適空間もさらに進化する。ズバリ、インテリアのコンセプトは『楽しさ満載、家族のバンザイ』。

家族で楽しく週末のドライブを過ごせる……そんな使い方を考慮したうえで、機能アップしてくるのだ。



[↑ zoom](#)

フロント、セカンド、サードの各シートに新機構を盛り込む次期ステップワゴンのインテリアを予想してみた。セカンドシートが“補助席付きベンチシート”で回転式なのは現行モデルと同じだが、スライド幅が150mmに増える。

ステップワゴンは、現行モデルもライバル車をリードする低フロアを誇っていたが、次期モデルではさらに40mmも低くなるという。フロア高は420mm。もはや、ライバルのフロアよりも、ステップの高さと比べられるほど低くなる。

シートアレンジの目玉は、フロントシートの両席回転対座だ。セカンドシートはスライドレールがフロアに移され、ロングスライド化を図る。さらに、チルトアップ式内蔵ジュニアシートもオプション設定。

8インチ大画面ディスプレイ中心のスッキリインパネ



[↑ zoom](#)

インパネは、よりスッキリした印象にリニューアル。センター上部のディスプレイは、なんと8インチの大画面も用意されとか。スイッチ類は集約配置で使いやすさを向上。助手席正面はトリム生地張りになる。

サードシートは現行モデル同様、ハネ上げ格納が可能なほか、前後150mmのスライドも可能になる。インパネデザインは、現行モデルをよりスッキリさせたイメージで、ダッシュ上面はまったくフラット。

もちろんナビをはじめ、各種スイッチは使いやすく配置されている。現行モデルのように、のぞき込まなければエアコン調節ができない、なんてことは絶対なさそうだ。

乗って幸せ、というのはミニバンにとって重要なポイント。今度のステップワゴンなら、きっと家族が幸せになれる！

新型ステップワゴンのシート機能（編集部予想）



[↑ zoom](#)

- ★フロントシート
 - 両席回転対座 3列フルフラット対応
 - サイドエアバッグ対応
- ★セカンドシート
 - 折りたたみ式ベンチシート
 - チップアップ式格納
 - 回転対座
 - ロングスライド
 - シートバックテーブル
 - チルトアップ式ジュニアシート（オプション設定）
- ★サードシート
 - 左右二分割
 - 跳ね上げ格納
 - 150mmスライド

▲戻る





